
向日葵が咲くその日まで

馨

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

向日葵が咲くまでの日まで

【Zコード】

Z5644D

【作者名】

馨

【あらすじ】

中学一年生の少女、錫川臘月スズカワサツキは、昔からの友人、青龍一星セイリュウイッセイへの想いに気づく。想いを伝えようとするも、ライバルや問題が次々起ころ。果たして、一星の“向日葵”は咲くのだろうか・・・？

プロローグ（前書き）

この小説には、理解し難いものがあります。。。
そう、同性愛の子が出てくる・・・のです。
ですが、ちゃんとそれには理由がありますので
是非よろしかつたら読んでみて下さい^_^

プロローグ

君はいつも

向日葵の様に輝いていた

いつも笑顔で

私を元気づけてくれた

けれど

その向日葵がもう見えない

プロローグ（後書き）

初めまして～＾＾＊
馨と申します。

今回初投稿させていただきました！

皆様のお気に召す作品が書けたら・・・と思つております
ここまででも、読んでくださった方、有難う御座いました＾＾＊

*

「臯月～！～！」

とても元気な、学校で聞いた第一声

「おはよ、一星」

「えへへー」

他愛もない話をしながら教室へ入る。
多分、これが今一番の幸せ。

「あのひ、悪いけどノート見せてくんない？」

「また？休憩してくれる？」

いつもと変わらない毎日。
つまらない日常など忘れて、現実逃避したい。

申し遅れてごめんなさい、私は錫川 露月。中学一年生。
けれど、今の生活には満足していない。
ありきたりすぎてベタだから。

「いいは、にしてやると・・・首もやつとつまらないみよつか」
子守唄の様な先生の授業は、私をもつとつまらないなくせる。

「ぬけようぜ、臯月」

隣から聞こえた一星の声。

「いいね、それ」

つまらない授業からぬけられる一つの手。

それは、丁度数学の時間だつた。

それぞれの理由で教室をぬけ、屋上へ行く。

(初めてのサボリがコイツとか…。まあ悪くないかも)

屋上に着いて、一星は言つ。

「購買開いてつかなー！」

「開いてないでしょ、第一今は一時限目だし」

そつかあ、と、ため息まじりの一星の声。

「自販なら年中無休じゃねえ？何がいい？」

「ミルクセーキ。一星の奢りねー」

ためらいながら屋上のドアを開けて、一星は行つた。

最上階の屋上では、今日の天気にふさわしい、優しい風が吹いていた

た
・
・
・
。

*

【話】終

一話（後書き）

一話もお楽しみに～＾＾＊

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5644d/>

向日葵が咲くその日まで

2010年11月14日09時30分発行